

いんざい

No.186

2018. 11. 15

議会だより



コートの主役をつかみ取れ！

(ミニバスケットボール大会／松山下公園 総合体育館)

平成29年度 決算 目玉事業

こんな事業を実施しました。

道路の建設・ 維持管理

- 市道00-116号線整備……………約977万円
- 市道松崎・吉田線整備……………約3,645万円
- 市道竜腹寺線整備……………約338万円
- 市道山田・平賀線改良……………約4,201万円
- 市道18-045号線小林駅南口駅前広場等整備……………約7,706万円
- 市道00-026号線延伸区間整備……………約7,721万円
- 市道00-107号線整備……………約2,713万円
- 松崎地区市道22-063号線新設改良……………約2,122万円
- 一般市道維持管理……………約4億1,122万円

平成29年度 一般・ 総額約507億



鳥獣被害対策
・イノシシ等対策……………約2,414万円

特別・企業会計 円の決算を認定

健康づくりの 推進

- 乳幼児健診・出産育児支援……………約9,887万円
- がん検診……………約1億490万円
- 健康づくりセンター等運営……………約3,694万円
- 食育推進……………約32万円

多様な 子育て支援

- 民間保育園の助成・保育委託、
保育園運営……………約24億4,400万円
- 保育施設改修(空調)……………約5,397万円
- 学童クラブ……………約9,392万円
- 子ども医療費助成……………約4億3,679万円
- 高校生等医療費助成……………約1,801万円
- 特定不妊治療費助成……………約568万円

■各会計の歳入歳出決算額

区 分		単位(円)	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計		35,814,514,561	33,578,205,651
特 別 会 計	国民健康保険	9,498,978,739	9,403,464,709
	下水道事業	1,620,656,662	1,500,784,730
	介護保険	4,890,533,586	4,605,418,061
	後期高齢者医療	718,844,525	706,524,125
	計	16,729,013,512	16,216,191,625
企業会計・水道事業		751,604,231	882,514,917
合 計		53,295,132,304	50,676,912,193

教育環境を整える

- 小学校管理運営……………約1億9,374万円
- 小学校施設整備改修……………約14億1,500万円
- 教材整備(小学校・中学校)……………約8,594万円

循環型社会づくり

- ごみ減量化・再資源化推進……………約1,917万円
- 不法投棄対策……………約436万円

いんざい
議会だより No.186



- P 2・3 29年度決算審査
目玉事業
- P 4 29年度決算
- P 5 補正予算の審査
予算審査常任委員会
- P 6 9月定例会
質問者一覧
- P 7~18 一般質問
会派代表質問6人
個人質問12人
- P 19 議案と審議結果一覧
陳情
- P 20・21 各常任委員会の審査
総務企画常任委員会
文教福祉常任委員会
建設経済常任委員会
- P 22 議員研修会報告
行政視察に来庁
- P 23 北総地区市議会
正副議長会議員
研修会報告
広報研究会報告
編集後記
- P 24 市民の声
次回定例会の
お知らせ

決算審査特別委員会

平成29年度一般会計・特別会計・企業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会を設置し、9月11日から13日までの3日間で審査を行いました。その結果、全会計の決算を認定すべきものと決定しました。質疑の一部を要約して掲載します。

北総線耐震化対策事業

問 29年度までの3カ年事業であったが、事業内容と印西市の負担は。

答 3カ年の合計で、柱が1474本、橋脚が4基、橋梁が34連であり、9842万2000円を負担した。



ふるさと納税

問 ふるさと納税の状況は。

答 ふるさと納税でいただいた金額は222万2104円、税額控除は1億6050万9082円で、1億5847万2082円のマイナスだった。



主要工事の執行状況

問 主要工事の執行状況に関する用地取得費2カ所について、内容、用地買収率は。

答 市道001026号線延伸区間の整備事業で、戸神地先の橋梁建設予定地の用地買収を行った。また、市道松崎・吉田線については、29年度で約30%の用地買収ができた。

支払い未執行の内容

問 監査委員から指摘された支払い未執行の詳細は。

答 印旛学校給食センターの自動シャッター改修工事が終了したが、30年6月1日に、業者から完了届が提出されていないことに気付いた。今後は、再発防止に努める。

小中学校老朽化対策

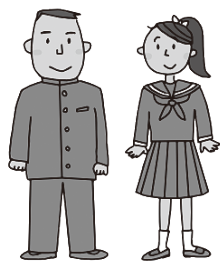
問 今後の小中学校等の老朽化対策等を見込んでどの程度基金を積み増す考えか。

答 基金残高は29年度末で約28億円。改修工事は1校につき小学校約4億円、中学校約5億円かかる。基金は2年から3年先に必要な額を積み立てる。

高等学校等奨学給付金事業

問 対象者全員が交付を受けたのか。

答 29年度中学校卒業生の対象者33名、全員に交付した。



補正予算の審査

予算審査常任委員会

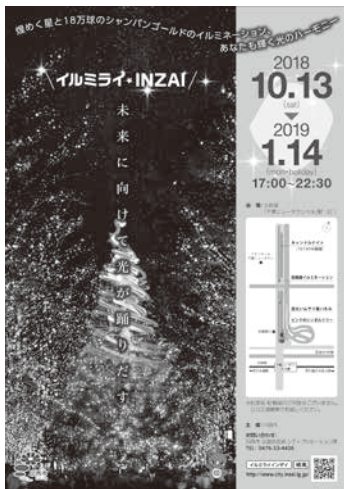
予算審査常任委員会では、9月14日に補正予算の審査を行いました。補正予算4議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

ここでは、質疑及び答弁の一部を要約して掲載します。

イルミライ・INZAIで売り込む

問 シティセールスに要する経費の詳しい内容は。

答 イルミネーションの電源工事、イベント2回分、警備に要する費用である。また、イベントは、ハロウィンで大きなカボチャのオブジェを設置し、イルミネーションを背景に写真を撮れるようにし、その写真をSNSで拡散した協力者には、いんざい君グッズをプレゼントする。また、クリスマスでも同様に、ツリーのオブジェを設置し、写真撮影できるようにする。



高花学童クラブ スペース拡張

問 学童クラブ施設整備事業費の増額補正の内容は。

答 高花学童クラブの定員は40名で、現在43名を受け入れている。手狭でもあり、隣の空き室を利用するための改修工事費、空調設備工事費と消耗品・備品の購入に要する経費である。

子育て支援を拡充

問 児童手当給付事業での増額補正の理由は。

答 千葉ニュータウン地区への子育て世代の転入、また、出生の増加による対象児童数が想定以上に増えたことにより4859万円増額する。

劣化した「いこいの湯 関連備品」新調

問 総合福祉センターの施設管理に要する経費の内容は。

答 20数年経過し劣化しているいこいの湯の電位治療器2台、全自動血圧計1台を新たに購入する。



良好な景観形成に向けて

問 景観形成促進事業の増額補正の内容は。

答 印西市景観条例の施行後に設置される景観審議会の審議会委員5名の報酬及び景観アドバイザーの報酬であり、審議会を2回、景観アドバイザーの相談件数を3回見込んだもの。

「ふれあいサポートセンター いんざい」開所へ 債務負担行為の補正

印旛高校跡地に障がい福祉施設「ふれあいサポートセンター いんざい」が12月に開所する。運営には、社会福祉法人印旛福祉会を指定管理者に指定し、指定期間を平成30年12月1日から33年3月31日までとした。その間の管理運営に係る委託料の限度額を1億1763万1千円として債務負担行為(※)を新たに追加する。



※債務負担行為とは…単年度で終了しない事業などの将来にわたる債務を負担する行為をいう。また、債務負担行為として予算で定めた案件は、義務費となり歳入歳出予算に計上される。

一般会計歳入歳出決算 本会議での討論(要約)

市職員の労働環境が問題

財政調整基金(※)はこの5年間うなぎのぼり。市には豊かな財政力がある。一方で、市民の暮らしを守る市職員の現状はどうか。1208人のうち、正規職員は全体の55%にすぎず、福祉・教育部門では非正規職員が大半を占め、女性が多く、格差のある職場となっている。財政力を活かした労働環境の改善を求める。

討
賛
成
反
対
論

健全な財政運営を評価

保育園運営事業の決算額だが、当初予算より約4億円の増で、保育需要が上がるに従い積み増している。また、新たに高等学校就学給付金交付事業や小学校修学旅行費の補助を行ったことを評価する。20億1324万円もの黒字を出し、11億円を財政調整基金(※)に積み立てるなど、健全な財政運営が行われた。

※財政調整基金とは…地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するためもうけられている基金

9月定例会は、8月31日から9月28日までの29日間、開催されました。

市長提出案件は、議案9件、認定6件・報告5件、同意2件、計22件、それぞれ慎重な審議が行われました。

審議結果は、19ページに掲載しています。

我が市政を問う

一般質問

平成30年第3回定例会では9月3日から5日間、18人の議員による会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。
この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

1. 響(ひびき) (金丸 和史) P7
2. 至 誠 (小川 義人) P8
3. 新 政 (板橋 睦) P9
4. 創 進 (小川 利彦) P10
5. 公 明 党 (橋本 和治) P11
6. 日本共産党 (山田 喜代子) P12

個人質問

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 米井 重行 P13 | 7. 山本 清 P16 |
| 2. 海老原 作一 P13 | 8. 稲葉 健 P16 |
| 3. 松尾 榮子 P14 | 9. 軍司 俊紀 P17 |
| 4. 浅沼 美弥子 P14 | 10. 岩崎 成子 P17 |
| 5. 伊藤 真一 P15 | 11. 近藤 瑞枝 P18 |
| 6. 櫻井 正夫 P15 | 12. 増田 葉子 P18 |

イルミネーション・ドクターヘリ運用

「響(ひびき)」金丸 和史 議員



講じるべきではないのか。

答弁 先日、担当課が対策を行った。今後さらに、ムクドリの状況を注視している。

再質問 ムクドリと同様に、自転車対策も講じるべきでは。

答弁 ムクドリや放置自転車については、関係各課と連携し、対策を講じたい。

再質問 地元との協議は丹念に行っているのか。

答弁 実施区間のマンションには直接伺い説明を行った。さらに、広報にて周知を行ってきた。今後も、周知に努めていきたい。

再質問 千葉ニュータウン中央駅ロータリー付近のホテル建設工事についても共生策を講じるべきでは。

答弁 イルミネーションに協力いただけるよう、相手側に

お願いしたい。

質問2 都市再生機構の跡地活用についての検討状況は。

企画財政部長 委員会の質疑や意見、附帯決議を踏まえ、現施設は解体の方向で検討している。

再質問 来年度の当初予算に組み込む予定の内容は。

答弁 現有施設の解体費用及び基本計画策定に係る委託費を計上したい。

質問3 現在のドクターヘリ離発着場所を印西市として、どのように考えているのか。

総務部長 現在、印西市内には36カ所が指定されている。

再質問 今後、救命率向上のために公園等を含め、増やすべきではないのか。

答弁 市としても、救命率の向上に繋がるものと考え、印西地区消防組合と調整を図り、連携していきたい。



防災・減災力の向上を目指して

「至誠」小川 義人 議員

質問 1 先日、行政視察で伺った北海道千歳市では、市街地を再現し、関係団体を含めオール市民で、総合防災訓練を行っている。印西市もより実践的な内容にしてはどうか。

総務部長 大規模地震の発生を想定し、地域住民の防災意識の高揚等を目的に、地震発生時の初動体制などを中心に実施し、地域特性を踏まえた訓練となるように自治会町内会及び各種団体等と実施に向けて調整を行っている。

再質問 トリアージ(※)訓練を取り入れる考えはあるか。

答弁 トリアージ訓練は、医

師等で構成される災害医療チームを配置している日本医科大学千葉北総病院が、総合防災訓練に参加することになっており、市民参加型訓練の一環として調整している。

再質問 浦安市は、女性職員の意見で、災害時のトイレを考案し、訓練で展示した。取り入れる考えはあるか。

答弁 浦安市では、東日本大震災で、災害用トイレの使用について、女性・子どもを中心に不安を感じたことから、災害用トイレを快適に使用できるよう、防犯ブザー等を備えた災害用非常用組立式トイレを展示したとのことである。

再質問 避難場所では被災者が昼夜をともにするが、夜間



市民参加による総合防災訓練

訓練を実施してはどうか。
答弁 提案のあった夜間訓練は、実施自治体の情報収集に努め、調査・研究したい。

質問 2 市内では、防災備品の提供はどうなっているか。

総務部長 防災備品は、地域住民の地震その他の災害による被害防止及び軽減を目的として、新設された自主防災組織を対象に助成している。提供方法は地域性を考慮し、自主防災会が希望する防災資機材を購入し、譲与している。

再質問 千歳市では、被災地の事例を教訓に、防災備品を必要最低限の20点にしぼり、各組織に配布している。同様の方法をとってはどうか。

答弁 各組織が求める防災資機材は、地域性があるため、今後も各組織のニーズに合わせた提供を行いたい。

問 違法開発と言われているが

答 都市建設部長—適正な開発許可をしている

「新政」板橋 睦 議員



40戸連たん制度で開発された地域

質問 40戸連たん制度についての現状と課題。

市長 「40戸連たん制度」は、都市計画法第34条第11号の規定に基づき、原則として市街地の促進が抑制されている市街化調整区域においても、一定の要件を満たせば、専用住宅等の建築が可能となる制度である。

制度の基準等については、「印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関

する条例」において定め

再質問 「違法開発」と一部から言われているが。

都市建設部長 市としては、都市計画法に基づく基準により審査し適合していることが確認された場合は、開発及び建築許可を行っているところであり、適正な開発許可制度の運用を行っている。

再質問 違法開発問題について、「県からの助言もあり一度は業者への指導強化等の運用改善を示唆していた市当局だが、一転、運用の変更は行われていないことを明らかにした。」と一部から言われているが。

答弁 県からの助言は、一団の土地における開発行為の手法を適切に誘導していくことの必要性であり、市としても、市で定めている「開発行為の一体性に関する判断基準」に基づき運用しているところである。

引き続き一体性を有する開発行為を適切に誘導していきたいと考えている。

再質問 「40戸連たん制度」の規制緩和は可能か。

例えば、市街化区域からの規制距離を1・1kmから1・5kmに変更出来ないか。

答弁 「40戸連たん制度」の変更については、都市計画法第34条第11号の条文では「市街化区域に隣接し、又は近接し、かつ、自然的社会的諸条件から市街化区域と一体的な日常生活圏を構成していると認められる地域」とされており、その主旨を逸脱しない範囲で許容されるものである。本制度についても慎重に検証していきたい。



議会だよりを「マチイロ」で！



増加しているイノシシ対策は

【答】市長―対応マニュアルを作成する

「創進」小川利彦議員

質問1 年々増加しているイノシシに対する対策は。

市長 集落や住宅地周辺にも出没することが予想されることから、対応マニュアルを作成し、関係機関と協議する。

再質問 農業被害及び農地以外の市街地等の被害の対策を協議するための専門部署が必要では。

環境経済部長 必要性も含めて関係部署と協議する。

再質問 ジビエの考え方は。

答弁 イノシシは全頭放射能検査の必要性や個体により肉質の差があること、捕獲数も一定でないことから、安定出荷が難しい状況である。ジビ

エ利用についての機運が高まった段階で、支援等について検討する。

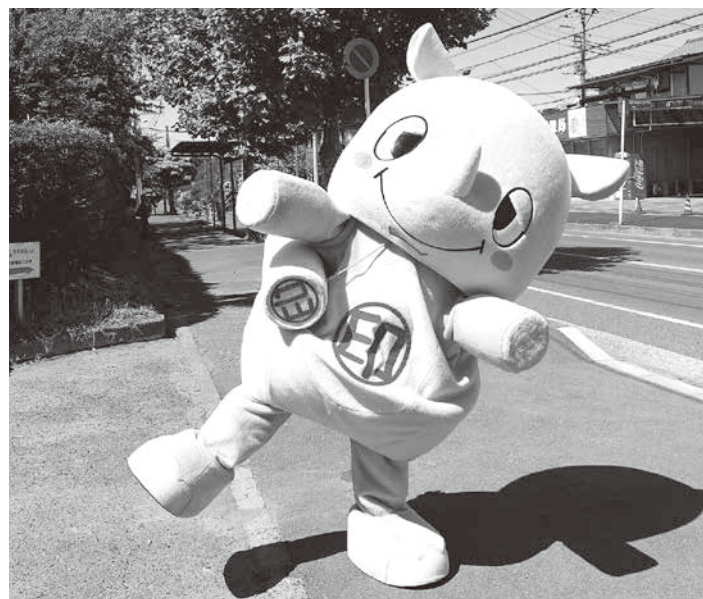
質問2 シティプロモーション事業の内容は。

企画財政部長 プロモーションコマーシャルの制作、イルミネーション「イルミライ・INZAI」の実施、オリジナル年賀状作成、柏レイソルホームタウンデーや大井競馬場印西市コスモス賞でPRを実施する。

再質問 「これぞ印西」という物品を製作する考えは。

答弁 マスコットキャラクター「いんざい君」を活用したグッズの製作販売をする。

再質問 市長が自ら地元特産品のセールスを行うようなシ



ティセールスも必要では。
答弁 トップセールスについては、効果的な場所や相手等を各担当課とも検討する。

質問3 閉校した校舎等の利活用は。

教育部長 跡地利用については、管理計画や活用方針に基づいて検討する。

再質問 民間活用はどうか。

答弁 活用要望が出た時点で検討する。

質問4 合併から10年目を迎える事について現況はどうか。

企画財政部長 総合計画や新市基本計画にあるものは、概ね着手、推進が図れている。

再質問 未着手の師戸江川線、笠神中田切線、角田線の着手はいつか。

都市建設部長 「第2次基本計画」の計画期間内の事業着手を目標とする。

洪水後の復旧作業
木下・大森・小林・本埜第二地区では、約8千人の方々は、他の地区の避難所に移動してもらうことになる。

再質問 西日本豪雨では、避難所のエアコンが問題となった。本市では、避難所でエアコンを利用することは可能か。

答弁 体育館にエアコンはないが、教室にはあるので、施設管理者と協議したい。

再質問 西日本豪雨では在宅避難者が多く、総務省は関係自治体に対し、在宅避難者への支援を要請した。本市の場合、在宅避難者に対する対応はどうなるのか。

答弁 避難所運営委員会や自主防災組織などと協力し、物資の供給や生活情報の提供など、避難所の避難者と同様の支援を行う。

質問2 大阪北部地震でブロック塀の倒壊により、登校

中の女子児童が死亡した事故を受け、全国的にブロック塀の点検が行われた。市として危険なブロック塀の状況を把握しているか。
都市建設部長 市内におけるブロック塀調査を実施し、小学校を中心とした半径500m内の通学路の状況を把握した。これらのブロック塀について、危険性が高いものはない。また、市の公共施設においては、安全性が確認できないブロック塀が5カ所あったが、現在全てのブロック塀の除去または補強が完了した。

再質問 通学路以外はどうか。

答弁 全数を把握していないが、定期的に建築パトロールを行い、劣化等問題の見られるブロック塀があれば個別に訪問を行い、適切な維持管理について周知徹底したい。

豪雨災害の避難態勢と危険なブロック塀除去

「公明党」橋本 和治 議員



質問1 西日本豪雨の被害を踏まえ、何点か伺う。最初に豪雨災害時の避難態勢は。

総務部長 利根川及び印旛沼の外水はん濫の避難所として、市内の指定避難場所29カ所を指定し、土砂災害に対しては、市内10カ所を特別避難所として指定している。

再質問 外水はん濫の浸水想定区域において、全避難者を指定避難場所に収容可能か。
答弁 浸水想定区域のうち、



お知らせ

請願・陳情書の提出ができます。詳細は議会事務局まで。



お知らせ

市役所1階行政資料コーナー、市議会ホームページで政務活動費収支報告書が閲覧できます。

子どもの豊かな学びは 教師の労働改善でこそ

「日本共産党」 山田 喜代子 議員

質問1 教師の長時間労働が社会問題となっている。出勤時間を把握するタイムカードの導入の考えはないか。

教育長 現在のところ考えていない。

再質問 教師の出退勤時刻の報告（6月）によると、過労死ライン（月の残業80時間）を超える教職員は、小学校では教員が101人、副校長、教頭が14人、校長が2人。中学校ではそれぞれ96人、7人、2人だ。このような中、最も長い在校時間の記録は。

答弁 学校で記録しており教育委員会は把握していない。

再質問 教師の多忙化で児童、生徒にどのような影響があると考えるか。

答弁 児童、生徒の変化を見過ぎしたり、放課後、相談にのつてあげられる時間を確保出来ず、必要な時に悩み等に対して適切な支援を出来ないことが考えられるが、このような状況が起こらないように指導したい。

質問2 生活保護制度の周知はホームページだけでなく、広報いんざいへの掲載や公共施設に「生活保護のしおり」を置くべきであり、また通院時の交通費の支給も出来ることを利用者に周知するべきだ。

健康福祉部長 周知に努める。

再質問 冬期手当と同様に夏期手当を支給する考えは。

答弁 国の動向を注視する。



質問3 就学援助制度の改善について、認定基準は世帯員の合計需要額の1・3倍だが、それを1・5倍にすれば対象者も増えるがどうか。

教育長 他市町村の状況把握に努める。

質問4 UR（都市再生機構）賃貸住宅空き室を市営住宅にすることを提案してきたが、その後の進捗状況はどうか。

市長 財政負担が少ない支援策を検討する。

質問5 地震ブレイカー（地震が起きると自動的にブレイカーが落ちる）の設置の普及と設置の際に補助をする考えは。

市長 印西地区消防組合と連携し普及、促進に努めたい。補助は先進事例の情報収集に努める。

平成30年第4回定例会で予定されている一般質問は、11月22日（木）以降、ホームページに掲載します。



未来への投資 高校誘致とインフラ整備 米井重行 議員



質問1 10万人を突破した印西市で高校が1校という選択肢の無さ、市内の高校生の大半が市外へ通学している。目を伏せてはいけけない問題である。現状をどう考えるか。

市長 人口規模という視点で近隣他市と比較すると、市内に高校が1校というのは、少ないと感じているのと同時に、高校を取り巻く環境を鑑みると、高校整備は非常に厳しい状況と認識している。当市はこれから発展の可能性を秘めていることから、その発展の中で高校整備の話等の機会があったら、積極的に当市をPRしたいと考える。

質問2 船尾地先から松崎地先までの区間の歩道の整備状況について、松崎側の約170mの区間の道路改良は、平成14年度以降工事の進捗が見られない。坂の途中で歩道がなくなり、より危険な状況

若草大橋延伸線 要望活動再開へ 海老原作一 議員

質問1 若草大橋延伸線の早期事業化に向けた要望活動の経緯はどうか。

市長 若草大橋延伸線促進協議会の枠組みで千葉県に対して要望していたが、印西市と印旛村、本埜村が合併したことから、改めて印西市と栄町の連名で要望を実施した。

再質問 今後の取り組みは。

答弁 鎌ヶ谷本埜線バイパスが平成31年度に開通予定であることから、若草大橋延伸線の重要性が高まっている。早期事業化に向け栄町と連携を図っていく。

質問2 農業生産におけるGAP（※）についての認識は。

環境経済部長 農産物の安全性だけでなく、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理に関する取り組みを行い、持続可能な農業生産、農業経営を実現することと認識している。



若草大橋からみた延伸方面

※GAPとは…農業における食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。

行政施設の全体計画 バス停へのベンチ設置は

松尾 榮子 議員



可能なバス停にベンチ設置を

質問 1 印西市は合併から8年を経過し今年5月には人口10万人を突破。現総合計画、基本計画が終了する平成32年には合併後10年を迎える。住んでみたい、住み続けたい印西を創っていくには市全域を見渡した中で必要な施設が適切に配置され、市民が暮らしやすいまちづくりが必要。本庁・支所・出張所の配置等について全体計画の考えは。

総務部長 印西市公共施設等総合管理計画では、市役所は市の拠点となる施設であり、計画的な修繕・改修により長期利用を図ることとしているが、建て替えの時には立地場所を含め検討することとしており、支所・出張所は、住民票等のコンビニ交付による利用状況の変化などを捉え、施設の廃止や、減築、他施設との集約化・複合化を検討することとしている。

質問 2 高齢化が進展する中、全国各地でバリアフリーの観点からバス停へのベンチ設置の取り組みが進んでいる。高齢者が道路の端で何分もバスを待つて立っているのはつらい状況。また街の要所として高齢者や障がいのある方、妊婦等が少しの間休むこともできる。可能なところについて検討していく考えは。

企画財政部長 高齢社会の進展等をふまえ、今後研究していきたい。

子育て支援拡充を

浅沼 美弥子 議員

質問 1 市として出産祝い事業がないのは寂しいのでは。

市長 印西市で暮らしたいと思えるよう子育て支援施策の更なる拡大を図ることは大変重要であると認識している。近隣自治体の状況等を調査し検討したい。

質問 2 ブックスタート事業を拡充し、セカンドブック事業等を検討する考えはないか。

健康福祉部長 ブックスタート事業では4か月児相談時に合わせ、読み聞かせや絵本のプレゼントを実施している。今後、事業のフォローアップとして他市での状況を調査するなど検討する。

質問 3 孫育てを応援する「祖父母手帳」等の取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 近隣13市では習志野市のみ実施。今後、子育て世代の保護者等を対象にアンケート調査を検討する。



質問 4 不育症対策の検討状況はどうか。

健康福祉部長 不育症治療に対する助成を実施しているのは県内で成田市、浦安市及び酒々井町で、いずれも上限30万円。支援の必要性は認識している。引き続き検討する。

再質問 不育症については、正確な情報周知が必要では。

答弁 市ホームページに掲載し周知啓発する。

個人質問

増え続けるイノシシを

何とかしないと

櫻井 正夫 議員

質問 平成30年第2回定例会で、イノシシ用囲い罾を2カ所設置予定であると答弁されたが場所は決まったか。

環境経済部長 囲い罾については新たな取り組みなので、設置場所・罾の構造など効果的な捕獲を進められるよう担当職員に先進地の視察を指示したところである。

再質問 電気柵の総延長は何kmで何haか。

答弁 国庫補助事業・県単独補助事業及び市単独事業を活用し、29年度末までに約635haの農地に対し、117kmを設置した。

再質問 事業開始から現在ま



電気柵設置を知らせる看板

で、猟友会が設置した罾の数はどれくらいか。

答弁 委託先である印西猟友会が設置しているものは、「箱罾」が約120基、「くくり罾」が約100基設置されていると聞いている。

個人質問

小規模農家へ農機具補助金を

伊藤 真一 議員



質問 市では小規模農業をどのようにして、持続可能な状況にしていけるのか。

市長 小規模農業を持続可能なものとするためには、個々での対応では非常に厳しい状況にあることから、集落営農組織の立ち上げ、農地の集積・集約化などを検討する必要があると考える。

再質問 2017年の国連総会では、19年から28年までの10年を「家族農業の10年」とすることを採択した。しかし、日本においては農業経営の規模拡大を推進しており、小規模・家族農業への支援が薄い状況であるため、市が小規模農業を含めて総合的に担い手を支援する必要があると考えるが、その考えはあるか。

環境経済部長 今後の国、県、他市町村の動向を勘案しながら、対応したいと考える。

再質問 認定農業者でなくても、全ての農業者に対して農機具等の補助事業を行っている市町村もあるが、市においても、同様に補助することはできないか。

答弁 市の単独補助の新設については、他市町村の情報収集を行うとともに、他市町村の動向を注視しながら、助成のあり方について検討していく。



中学部活の活動中に 発生した熱中症は何件か

山本清議員

質問 市のガイドラインでは、中学部活動の活動時間は、準備と片付けを含めて平日が2時間以内、休日が3時間以内、と制限されている。遵守されているかどうかをどのように調査しているか。

教育長 各部活動の顧問が校長に出している活動実績により、活動日、活動時間を把握している。

再質問 ガイドラインは守られているのか。

答弁 概ね遵守している。

再質問 昨年度、部活動中のけがは何件発生したか。

答弁 187件発生した。

再質問 印西市の付近で、暑さ指数が「危険」となる31度以上の日は、7月・8月に何日あったか。

答弁 環境省の熱中症予防情報によると、暑さ指数が31度を超えた延べ日数は、近隣の観測地点の我孫子市では、7



ガイドラインの時間制限は守られているのだろうか？

月は13日、8月は15日あり、また、佐倉市では、7月は19日、8月は16日あった。

再質問 暑さ指数が「嚴重警戒」「危険」の日、部活動はどのように活動したか。

答弁 こまめに水分や塩分を補給して休憩時間を確保したり、生徒の体調を確認したりして、熱中症事故の防止に努めながら活動している。

再質問 今年の夏、部活動の中で熱中症になった生徒は、何人いるか。

答弁 8月末現在で5人だ。

住みよさランキング日本一 次の施策は

稲葉健議員

質問 東洋経済新報社が公表している住みよさランキング総合評価7年連続1位の印西市。市の見解は。

市長 住みよさランキングは、公的統計をもとに5つの分野に分類し、それぞれランク付けされているが、今年は特に「安心度」の中に新たな項目として「年少人口の増加率」が加わり「安心度」の分野に

おいても大きくランキングが上昇していた。

再質問 情報分析等は行っているのか。

企画財政部長 16の公的統計指標動向等分析を行っている。

再質問 年少人口の増加により、今後、対策が必要と思われるが、待機児童問題等の見解は。

答弁 子育てに係る施設の不足等の懸念に対応できるように対策を講じていきたい。

再質問 市民ニーズに対して、今後、何が必要か分析はできているのか。

答弁 市民満足度調査にて約1割が「印西市に住み続けたくない」と回答している。その理由としては、「公共交通が不便である」が75・9%と最も高くなっている。

再質問 その対策は。

答弁 総合計画にて実施計画事業に位置付け推進を図る。



人口10万人突破の記念式典

個人質問

待機児童対策は保育園も 学童保育も考えて

軍司俊紀議員

質問1 平成31年4月に開園予定の保育園は予定通り開園できるのか。

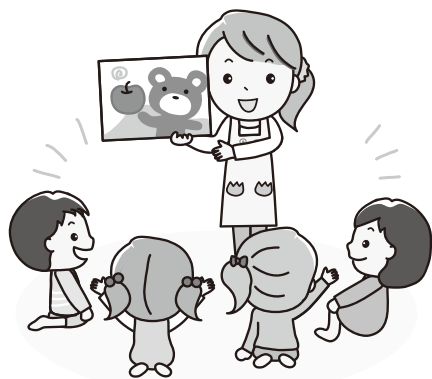
健康福祉部長 順調に進んでいると聞いている。

質問2 小倉台小学校での第3学童保育の設置について進展がみられない。早急に設置すべきだと考えるが、いかがか。

健康福祉部長 教育委員会と協議している。協議の結果、小学校の敷地内に設置することとできない場合は、近隣の公園への設置も含め早期に設置するよう検討していく。

質問3 地域包括支援センターでは住まいに対する相談があった場合どのように対応するのか。

健康福祉部長 一人での生活に不安を抱えている方には、必要に応じ、ケアハウスやサービス付き高齢者向け住宅等の説明を行い、また、経済的



問題を抱えている方であれば、ワーク・ライフサポートセンターと連携する等、関係機関と連携し対応に当たっている。

再質問 高齢者の在宅環境の整備を図るための仕組みづくりについて、どう考えるのか。

答弁 今後、地域ケア推進会議等で住まいや住環境についての課題が上がった場合は、在宅環境の整備を図るための仕組みづくりについて、検討していく。

個人質問

防災・減災への 取り組みと課題

岩崎成子議員

質問 防災・減災への取り組みの現況は。

総務部長 平成30年6月に平時及び災害時における自主防災組織の役割や自主防災組織間の連携を目的に自主防災リーダー研修会を実施した。9月8日には、市民を対象に災害対策講座「迫りくる未曾有の大災害」として、各地で多発している災害から身を守り、ライフライン復旧までの生活を少しでも快適に過ごすための対処方法について学ぶ市民講座を予定している。ま



水消火器による消火体験

た、町内会等や各種団体に出向き「地域で取り組む防災・防災」についての講座を実施している。

再質問 取り組みについての課題は。

答弁 近年、多発している災害では、消防、警察等の防災機関が十分に対応できなくなることが考えられるので、「自助」の備えとともに「共助」による地域防災力の向上が喫緊の課題である。

再質問 課題への対応をどのように考えているのか。

答弁 市民一人一人が必要性を認識し、自ら取り組んでいただく必要がある。そのためにも、各種研修会や講演会の開催、地域に出向いての出席講座等を行い、自助・共助による地域防災力の向上を呼びかけていくことが地域における防災・減災につながるものと考えている。

もう使用済みオムツを
持ち帰らなくていいよ

近藤瑞枝議員

個人質問

質問 1 平成29年第4回定例会において、保護者・保育士の負担軽減のため使用済みオムツの園での処理を求め、公立保育園は30年5月1日からスタートした。民間保育園での状況はどうか。

市長 8月1日から、補助金を交付して実施している。

再質問 印旛郡市内で、公立民間全ての園で同様の対応をしている自治体はあるか。

健康福祉部長 印西市のみである。

再質問 今後開園される保育



園も含め、市内全ての保育園での実施と理解して良いか。

答弁 全ての保育園で同様の対応をしていく。

質問 2 牧の原6丁目・滝野7丁目から滝野小学校への通学路に、横断歩道が無い。設置要望への状況はどうか。

市民部長 市長から県知事への要望もしており、順次進めているとのことである。

質問 3 認知症カフェ「いんざいオレンジカフェ」は地域包括センターに委託実施されているが、参加希望者への送迎を考えるべきではないか。

健康福祉部長 今後検討する。

再質問 市内に1カ所、常設する考えはないか。

答弁 まず開催回数や会場数を増やし充実を図った上で常設の必要性を検討したい。

新ホールの整備に向け

文化芸術条例の制定を

増田葉子議員

個人質問



文化ホール

質問 先に文化ホール、ギャラリーなどの複合施設を検討していきたい旨の答弁があった。新たな施設の整備に向けた、これまでの文化芸術施策の課題を踏まえていく必要がある。平成19年に、文化芸術振興条例の制定に前向きに取り組んでいく旨の答弁があったが、その後、条例制定はどこに消えてしまったのか。

教育部長 内部の協議で、条例を制定する段階ではないと判断し、基本方針とした。

再質問 条例と基本方針ではどんな違いがあるのか。

答弁 条例は理念や市の責務が位置づけられ、市民へも関心や理解を求めるものになる。基本方針は、取り組みの基本事項を定めている。

再質問 理念なくして政策なく、政策なくして計画なく、計画なくして実施なし、という。印西市の現状は、理念な

陳情

▼臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書を求める陳情書

〈議員配布〉

臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、早急な対策が必要である。貴議会から国へ、臓器移植の環境整備を求める意見書を提出してください。

▼核兵器禁止条約の署名・締結を求める意見書の提出に関する要望書

〈議員配布〉

広島・長崎の被爆者の切なる願いと平和首長会議からの呼びかけに応え、政府及び国会に対して、核兵器禁止条約の署名・締結を求める意見書を提出してください。

表紙の写真



第21回印西市ミニバスケットボール大会が8月26・27日に松山下公園総合体育館で行われました。子どもたちは、この大会を目標に日頃から練習に励み、大会ではその成果を発揮し、熱戦を繰り広げていました。印西市バスケットボール協会の小暮会長にお話を伺いました。印西市では小学生を対象としたミニバスケットボールが盛んで、印旛郡市の大会では、指導者に恵まれている事もあって毎年男女とも上位に入賞しています。中学校で実力をつけ、印西市で育った子供達が県下の強豪校といわれる高校に進学し、レギュラーとして活躍しているとのことでした。(米井)

平成30年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、除＝除斥 ※議長(藤代武雄)は採決に加わりません。 ※賛否が分かれた議案のみ掲載しました。

番 号	件 名	議決結果	伊藤 真一	稲葉 健	小川 利彦	玉木 実	米井 重行	櫻井 正夫	浅沼美弥子	岩崎 成子	海老原作一	近藤 瑞枝	橋本 和治	増田 葉子	松尾 榮子	山本 清	小川 義人	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田喜代子	酢崎 義行	藤代 武雄
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）																							
認定第1号	平成29年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第2号	平成29年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第4号	平成29年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第5号	平成29年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

平成30年第3回定例会 全会一致(可決・認定・同意)議案一覧

番 号	件 名	番 号	件 名
《議案》(市長提出議案)			
議案第1号	印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	議案第8号	財産の取得
議案第2号	印西市景観条例の制定	議案第9号	指定管理者の指定
議案第3号	印西市議会議員及び印西市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	認定第3号	平成29年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
議案第4号	平成30年度印西市一般会計補正予算(第2号)	認定第6号	平成29年度印西市水道事業会計決算認定
議案第5号	平成30年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	同意第1号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること
議案第6号	平成30年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	同意第2号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること
議案第7号	平成30年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)		

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において付託審査することを原則としています。

9月18日に総務企画常任委員会、9月19日に文教福祉常任委員会、9月20日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

各常任委員会の審査

「自然」と「都市」が ふれあうまちを目指して

建設経済 常任委員会

【景観条例の制定】

【内容】景観法の規定に基づき、市民、事業者及び市の協働による良好な景観の形成を図る。

問 景観法の中で制限されていないもので新たに制限したものがあるか。

答 太陽光発電での500㎡以上の届け出が必要になったことと、竹の伐採が新たに加わった。

問 景観アドバイザーとは。

答 景観、色彩、都市計画、土木、建築、造園などのそれぞれの分野のエキスパート、助言をいただける学識経験のある方を考えている。

問 景観まちづくり重点地区というのは、どこを想定しているのか。

答 これまでの策定委員会、市民懇談会の会議の中では、小林牧場、道作古墳、鳥見神社などの歴史的なゾーン等の案があるが、現在、



道作古墳

具体的には候補地というものではなく今後、モデル地区を検討したい。

【審査結果】

●印西市景観条例の制定
〈可決〉

選挙運動用ビラの 公費負担が可能に

【市議会議員及び市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定】

■公費負担制度とは

候補者の資産の多少にかかわらず、立候補や選挙運動の機会を保てるようにするた

総務企画 常任委員会

【内容】市議会議員選挙における選挙運動用ビラ作成費について、1枚当たり7円51銭を限度として公費負担を可能にするもの。

施行日は平成31年3月1日以降に実施される選挙から適用。

め、一定の範囲で選挙運動費用の一部を公費で負担する制度。（制度が適用される候補者の範囲は限定される）

市議会議員選挙における公費負担の種類は次の通り。

- ・選挙運動用自動車の使用
- ・選挙運動用ポスター作成

- ・選挙運動用ビラの作成（今回の改正）



【審査結果】

●印西市議会議員及び印西市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定〈可決〉

高齢者、障がい者の 支援の質を慎重に審査

【指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定】

【内容】指定居宅介護支援事業者の指定の権限が市に移譲され、事業の基準等を定める。

問 人員の補強と育成など、指定に伴う監査の体制はとれているのか。また監査の基準は別途定めるのか。

答 人員は今後要望していきたい。監査の基準は県の基準を参考に別途定めていく。

【財産の取得】

【内容】小学校19校の第1学年分の机・椅子、1200組を老朽化に伴い入れ替える。

問 更新6力年計画の4年目で、小学校はあと2年ですべて新しい机・椅子になるのか。

答 そのとおりである。

【指定管理者の指定】

【内容】ふれあいサポートセンターいんざいの指定管理者を指定する。



ケアマネジャーの事業者指定が市の権限に

問 訪問型自立訓練を行う予定だが、訪問支援員は1名で足りるのか。

答 初めて行う事業なので、状況で人数も検討していく。

【審査結果】

●印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

- 財産の取得 〈可決〉
- 指定管理者の指定 〈可決〉

改革の一環 初の議員研修会開催

平成30年9月26日全員協議会室にて議員研修会を実施しました。この研修会は、議会改革推進特別委員会が企画し、29年度より準備を進めてきたもので、議員の資質の向上を目指して実施した研修会です。

講師には議会事務局実務研究会議会アドバイザーの吉田利宏氏を迎え、「議員のため



の政策法務」について講演をいただきました。

内容としては、

- 一、住民の声から政策を作る場合の解決方法について。住民からの問題に対して、良く声を聴いて、議論し、調べるという政策へのアプローチの仕方。解決策として、条例をつくらずに工夫で解決できないか、予算措置で解決できないか、条例によらないで解決策を考える。必ずしも条例を必要としない部分の仕分けの仕方についてから条例作成に至るまでの基本的な対応。
 - 二、条例立法の方法として実際の条例作成時の説明。
 - 三、議員立法の対象について。
- 以上3項目について事例を交えた話で、わかり易い内容でした。今後、条例制定が必要になった場合、今回の研修内容を大いに活用していきます。

北総地区市議会 正副議長会 議員研修会

平成30年10月10日（水）成田市において、千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会が開催され、印西市議会から18名の議員が参加しました。講師は、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏で、「地方創生戦略に求められる視点とその進め方」についての講演がありました。



市町村議会 広報研究会にて高評価 議会だより編集委員会

平成30年7月5日（木）、「平成30年度市町村議会広報研究会」が千葉県自治会館で開催され、県内各地から100名を超える議会だより編集担当者の参加がありました。印西市からも議会だより編集委員及び事務局担当職員が参加しました。

講師は、議会広報サポーターの芳野政明氏で、「住民に読まれ、伝わる」議会広報編集のポイントについて、講師が各市で直近に発行した議会だよりを評価するコーナーがありました。

今回は、当市もクリニックに応募し、評価を受けることができました。これまで改善に取り組んだこともあって、高い評価を受けた

富山県砺波市議会 自由民主党砺波市議会 議員会等が視察に来庁

平成30年7月25日（水）、富山県砺波市議会の議長、自由民主党砺波市議会議員会等の議員12名、事務局1名が視察に訪れました。

視察内容は、「都市マスタープランに基づく都市づくりについて」でした。藤代議長から歓迎の挨拶、都市計画課の担当者が事業説明を行いました。

鹿児島県出水市議会 議会運営委員会が 視察に来庁

平成30年8月21日（火）、鹿児島県出水市議会の副議長、議会運営委員会の議員6名、事務局1名が視察に訪れました。

視察内容は、「予算審査常任委員会、決算審査特別委員会について」と「議会改革の取り組みについて」でした。藤代議長から歓迎の挨拶、

編集後記

台風24号接近を心配しながらの平成30年第3回定例会の最終日、全ての議案が可決され、29年度の決算も認定されました。

今年は、大型の台風や地震、火山活動など多くの自然災害が発生しました。中には、多くの死者を含めた大きな被害を出したものもあります。

自然災害は、いつどこで起こるかわかりません。

東日本大震災の際に釜石市内の小学校では防災訓練のとおりに行動し、全員無事であった例にもあるように、安全と言われる印西市でも防災訓練など災害に対する備えは常に必要であると痛感しました。

（玉木）

委員長	佐崎 義行
副委員長	海老原 一作
委員	伊藤 真一
稲葉 健	
小川 利彦	
玉木 実	
米井 重行	
浅沼美弥子	

京都府城陽市議会 福祉常任委員会が 視察に来庁

平成30年8月23日（木）、京都府城陽市議会福祉常任委員会の議員5名、事務局1名が視察に訪れました。

視察内容は、「人間ドック・脳ドックの受診制度充実事業について」でした。藤代議長から歓迎の挨拶、国保年金課長が事業説明を行いました。



視察風景

『これからの

印西市を

変えるには』

本埜中学校卒

近藤 芳弘
こんどう よしひろ

市民の声を書くにあたり、私は印西市議会について何も知らない状態だったので最初に市議会について調べてみた。そこで私が感じたのが、ベテランの議員の方が多く、若い議員の方はあまりいないということだ。また、現在の政策は高齢者重視になりがちなのではないだろうか。これから高齢者の数はますます増えてこの傾向は強まるばかりだ

と思う。

選挙年齢が18歳に引き下げられた今、そんな流れを変えられるのは私たち、若い世代だと考える。しかし、政治に関心を持たない高校生や大学生は多いと感じる。実際、私もいざ選挙に行きましようと言われても、何をもとに判断し、投票していいかわからなかった。大切なのは、自分の頭で政治について考えられる若者を増やすことだ。

投票率が低く、政治に無関心と思われがちな若い世代だが、しっかりと考え始めた人たちも少なくないはずだ。投票に行かない理由について、自分の一票では何も変わらないからという声を耳にする。確かに、一人の一票だけでは何も変わらないかもしれない。しかし、同じ考えの人が増えていけば大きな力になる。これからの印西市は私たち、若い世代が変えていく必要があるのではないかと私は思う。

議会を傍聴してみませんか

第4回 定例会会期予定及び日程

次の定例会は、11月30日(金)から12月21日(金)までの会期予定です。

午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614



いんざい君 © 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
11/18	11/19	11/20	11/21	11/22 議会運営委員会	11/23 勤労感謝の日	11/24
11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30 本会議 (議案上程)	12/1
12/2	12/3 本会議 (個人質問)	12/4 本会議 (個人質問)	12/5 本会議 (個人質問)	12/6 本会議 (個人質問)	12/7 本会議 (個人質問)	12/8
12/9	12/10 予算審査 常任委員会	12/11 総務企画 常任委員会	12/12 文教福祉 常任委員会	12/13 建設経済 常任委員会	12/14	12/15
12/16	12/17	12/18	12/19	12/20 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/21 本会議 (議案の採決)	12/22